

第 60 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 24 年 11 月 27 日(火)－29 日(木)

クローバープラザ(福岡県春日市) (平成 24 年度プラズマ核融合学会展示会会場)

2. 来訪者:22 名

3. 説明概要:

平成 24 年度 プラズマ核融合学会のポスター発表会場に併設された展示会会場において、来訪者に核融合、ITER などに関する資料を配布し、ITER 計画について説明するとともに、ITER 機構職員募集および登録案内を行いました。今回は、ポスター発表の会場に併設されたこともあり、ポスター発表の時間中は多くの方々に来訪していただきました。(ITER 統合支援 Gr 大原、上野)

4. 主な Q&A

Q:核融合の燃料となる重水素は、どうやって入手するのですか？

A:核融合の燃料となる重水素は、電気分解などの手法を用いることにより、海水を含む水から分離することが可能です。例えば海水 1 立方メートル中には 0.2g 含まれており、地球上には 2330 億トンの重水が存在していると言われています。

Q: ITER 機構職員として働いている日本人職員は何人でしょうか？

A:ITER 機構の専門職員が 28 名、支援職員として 6 名が ITER の建設活動に従事しています。支援職員は 6 名です。ITER 機構全職員の中での日本国籍の方の割合は、専門職員が 9%程度となっています。

Q:ITER 建設サイトの状況を教えてください。

A: ITER 建設サイトにおける工事は順調に進展しています。2012 年 4 月に、ITER 本体が設置されるトカマク複合建屋のピット内壁整備と免振動用パッドの設置作業が完了しました。また、2012 年 10 月からは、新たに完成した ITER 機構本部ビル(地上 5 階、地下 1 階高さ 20m、長さ 180m)が供用開始されました。

Q:ITER 機構職員募集や応募方法について具体的に教えてください。また面接はどのように行われるのですか？

A:ITER 機構の職員募集は、不定期に ITER 機構のホームページ(<http://www.iter.org/jobs>)に掲載されます。このホームページでは、現在募集中のポストやその職務に関する情報、募集プロセスに関する情報を得ることができます。募集されたポストの職務に求められる要件とご自分の経歴などを照らし合わせた上で、ご応募ください。応募は同ホームページ上で、所定

のフォームにご自分の情報を入力し、ITER 機構へ送信すれば手続きは完了します。

応募後、ITER 機構による書類審査に合格すると、次に ITER 機構が行う面接による審査を受けます。面接は ITER 機構の複数の面接者とテレビ会議システムを用いて面接することになります。テレビ会議で面接を行うのは、世界中のどこからでも平等な条件で面接を受けられるようにするためです。

この面接審査に対する支援として、原子力機構が実施して下記の登録制に加入していただきますと、模擬面接ビデオを閲覧することもできます。また面接審査の対象の方の希望により、面接のトレーニング(自己負担なし)も行っています。スカイプ等のシステムをご準備頂きますと、ご自宅のパソコンから面接トレーニングを受講できます。どうぞご活用ください。

登録制への加入方法については、下記の URL をご覧ください。

http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1_information_system.html

Q: ひとりで複数のポジションに応募できますか？

A: ひとりで複数のポジションに同時に応募することもできます。何度も応募される応募者の方も少なからずおられます。応募するポジション毎に ITER 機構の Web サイトから書類を登録し、ご応募下さい。

Q: 職務経験に関してですが、募集されているポジションと全く同一の職務経験が求められるのですか？

A: 職務経験については、募集ポジション毎に Job Description に記載されていますので、それぞれ要求される条件をみたまいます。一般的には、募集されているポジションと同じ分野等における経験が求められます。

ご自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的に応募されたらよいと思います。



平成 24 年度プラズマ核融合学会展示会会場の様子